

学校支援活動：不二見小：クラブ活動「理科クラブ（第3回/全5回）」

2024-11-18 学校支援 Gr

1. 日時：2024-11-18（月） 15:00～15:45
2. 学校：不二見小 「理科クラブ（第3回/全5回）」 山本先生、酒井校長視察
4年～6年 18名
テーマ：①傘袋ロケット



【傘袋ロケット】

3. 活動状況

- (1) 工作に入る前に H2A ロケットの大きさ（全長 55m、直径 4m）と速さ（8000m/秒）を説明した。速さの比較として新幹線（80m/秒）、飛行機（250m/秒）、音（300m/秒）を示した。「マッハ」という用語を知っていた児童がいた（6年までの理科では未履修）が、何を示すのか理解をしていなかったなので、説明を加えた。
- (2) 傘袋を使ってロケットを工作し、フラフープを的にして飛翔させた。飛翔は人力。
- (3) 傘袋（傘の雨だれ防止用袋）をロケット本体（全長 65 cm）に見立て、画用紙で作った翼 3 枚を両面テープで張り付けた。先端部にはビニールテープを長手方向と円周方向に巻き付け、重りを主体に形を整えて完成。
傘袋に空気を入れる作業が児童にはちょっと大変。口で空気を吹き込んだあと、そのまま吸い込んでしまい、空気は袋の中を行ったり来たりでなかなか溜まらない。指導員が根気よく指導戴いたお陰で全員何とか完成。袋の口は輪ゴムで縛る。
- (4) 完成品の飛翔はフラフープを的にして、ロケット発射。ここからは指導不要、各人思い思いのやり方で飛ばした。工作でちょっと苦しんだことなど、どこかに吹っ飛んだ。



ロケットの説明



全員説明に注目



工作指導



丁寧に工作指導



見守り



机に被さって



見事 2 基同時に
的通過
持ち方がベスト

4. 支援者：理科クラブ員 8名